

伊野南墓地公園 「完成間近」!!

平成18年2月末で、墓地造成部分の工事はほぼ完了しました。

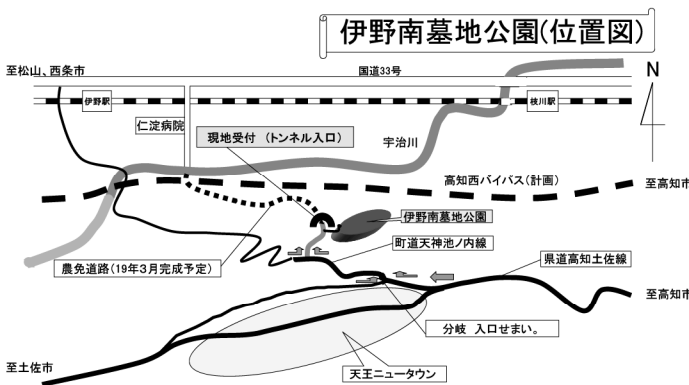
残るのは、管理棟のみとなっています。

管理棟については、6月中に完成の見込みです。

管理棟完成後に「完成見学会」を開催予定ですので、日時が決まり次第広報でお知らせします。

問い合わせ先

環境課 電話 893-1160



いの町グリーンツーリズムだより (第10回)

愛媛県内子町グリーンツーリズム(民泊)を研修



石畳の宿(公設)

いの町グリーンツーリズム研究会では、会員14名が1月21日(土)から22日に内子町グリーンツーリズムの宿泊研修を行いました。内子町には固有の町並み、村並みなど特色ある地域文化があり、町では山間地域における新たな地域振興を図るため、「内子町グリーンツーリズム協会」を平成16年4月発足し、9軒が民泊を営業しています。

一行は、3ヶ所に分宿してそれぞれの宿の特徴や民泊にかける想い、宿泊のもてなし等を研修しました。

宿泊施設「石畳の宿」では、旧農家住宅であった廃屋を町が移築・再生したもので昔の佇まいを感じる旧家です。年間1,000人ほどの方が宿泊され、その内75%前後が県外客で、単に自然や農林業体験に親しむだけでなく、水

と緑と土の「もてなし」の中で、ゲストとホストの直接的な交流を楽しみ、心と身の「癒し」を求めるリピーターの方が多いとの説明がありました。

夕食は盛りだくさんの料理が出ていましたが、地元の旬の材料を用いた天ぷら(よもぎ、ほとけのざ、菜の花、はこべ、ゆきのした等12種類)などが季節感を生み出し、箸置きにサザンカのつぼみが置かれるなど心細やかな配慮を感じました。

石畳の宿を運営する「石畳を思う会」は、地域住民で組織されており、会則を持たず、他に依存せず、自前で立ち上がったグループです。発足当時、地域の人々は、「こんな辺りなところにお客が来るわけがない」と見ていたようで、予想をはるかに超える利用者が来るのを見て意識も変化し「宿」が地域の誇りとなり、自分たちの暮らしや料理が評価された事によって地域が元気になったとの説明を受け、今後の「いの町グリーンツーリズム」の進むべき姿に想いを馳せ、内子町を後にしました。



季節感のある天ぷら

問い合わせ先

吾北総合支所地域振興課内

いの町グリーンツーリズム研究会

電話 867-2314